

樫谷議員 皆さんおはようございます。通告していました2点について質問します。最初に、おひさまスクールの移転について質問させていただきます。この問題については、平成30年9月の定例議会でも取り上げましたが、生徒数が減少している中、学校の空き教室におひさまスクールを移転できないものか。また、当初計画を予定していた牟岐小学校内の学童保育の場所、現在は多目的教室として使用している場所におひさまスクールを移転できないかものと質問しました。当時の答弁としては、おひさまスクールを牟岐中学校の校舎に移転するとなると学習活動のスペースが少なくなり、学校教育に支障がでることが想定される。また、当初、小学校の多目的教室は、学童保育の教室として計画していたが、保育の場として転用する場合は、目的外使用となるなどの問題もあり、校舎内への移転は困難との答弁で、その後の方針が決っていない状況であります。あれから2年経過しましたが、その後、協議は進んでいるのかお聞きします。次の質問に入ります。次に事務事業の見直しについて、お聞きします。令和元年度の決算を拝見すると、経常収支比率98.1%、前年度に比べると0.6%増、公債費比率8.6%、前年度に比べて0.4%増、起債制限比率7.8%、前年度に比べて0.5%増、実質公債費比率8.4%、前年度に比べて0.5%増となっています。令和元年度の普通会計の実質単年度収支は、約8千万円の赤字となっています。引き続き厳しい財政状況が続いていると認識しています。牟岐町の現状を考えると、毎年、人口減少などに伴う徴税収入の減少が見られる中、新型コロナウイルスの影響で経済が冷え込み、さらに厳しい状況が想定されます。これまででも監査委員から早急にイベント事業の見直し、大口補助金の再検討、委託事業の内容の見直し、各課による事業の優先順位や無駄の削減、時間管理の徹底等のご意見をいただいています。現場の職員一人ひとりが積極的に事務事業を見直し、業務改革に取り組まなければいけないと思われませんが、町長の見解をお聞きします。以上、2点について、ご答弁をよろしくお願ひします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枘富町長 おはようございます。はじめに榎谷議員からのおひさまスクールの移転についてのご質問にお答えします。この件につきましては、平成28年度から協議を重ねてまいりまして、最初は、町民センターを改修し、おひさまスクールを移転する案もありましたが、その後、生徒数が減少している中、学校の空き教室におひさまスクールを移転できないものか。議員の皆様とも学校内を視察するなどして、この間、協議を重ねてまいりました。その後も協議を重ねていますが、おひさまスクールの校舎内への移転につきましては、空き教室があるように見えるが人数にかかわらず教室数は必要、また、おひさまスクールを中学校の校舎内に移転するとなると、管理区分の問題も少なからずあります。また、小学校の多目的教室は、会議室として使用度が高く、ここに移転すると、この教室が使用できなくなるなどの課題もあります。小中学校の校長も交えて意見をお聞きしながら協議していますが、現時点で小中学校の校舎内への移転は、さまざま課題があり、現実的ではないとの認識で、校舎以外の市宇ヶ丘学園内の敷地におひさまスクールを新築できる場所がないのかなども含めて、小中学校にもご協力いただきながら移転場所の検討を行っている状況です。次に事務事業の見直しについて、お答えします。牟岐町の財政状況は、依然として厳しい状況にあります。その上に新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、町税を含め特に地方交付税など、これまでの歳入を確保することが困難な状況が想定されます。町としましても、事業としてやるべきことはやる。また、できるところはしっかりと対応していかなければなりません。法令等により実施が義務づけられているものを除き、任意の事業については、費用対効果など見極め、これまで行政が担ってきた分野であっても、行政が引き続きサービスを担うべきか否か、また、適正なサービス水準や受益者負担等を検討するとともに費用対効果などを見極め、経常経費の見直し、事務事業の見直し、事業の取捨選択をしっかりと行い、削減できるところは削減するなどして、牟岐町の財政の健全化を図っていきたいと考えています。以上です。よろしく申し上げます。

一山議長 榎谷議員。

榎谷議員 今、枘富町長より答弁をいただきました。おひさまスクールの移転に関しましては、本年度中に協議を終え、移転先を決めていただきたい。また、事務事業の見直しについては、財政状況が厳しいので、しっかりと行っていただきたい。2点をお願い申し上げまして、私の質問を終わります。